

「里やま」って どんなところ？

とくちょう
特徴

日本を代表する自然のひとつ

田んぼや畑がひろがり、林がある。家や神社やお寺もある。そんな農村のような風景を「里やま」と呼びます。

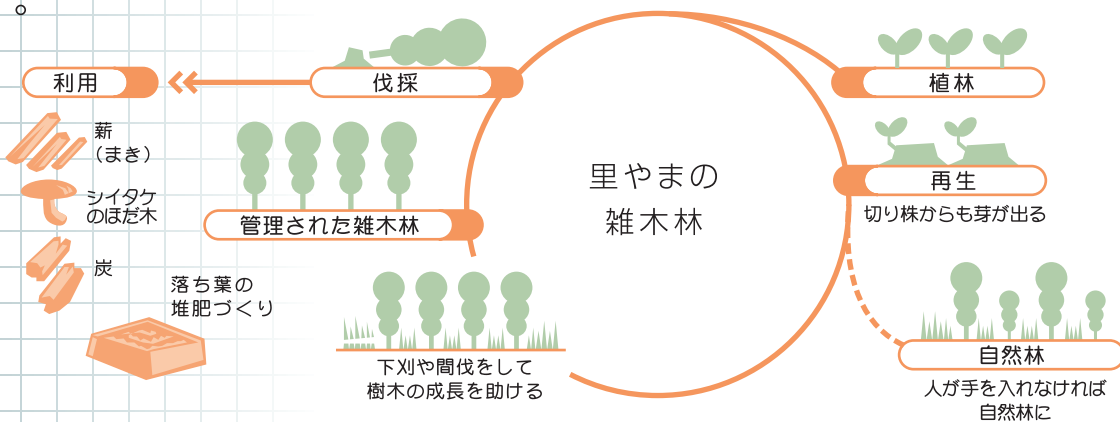
里やまの自然はどんな自然でしょうか。

里やまでは昔から、田畑を耕したり、田んぼに水を引くためのため池や水路を作り、それを手入れしたり、林では、燃料のまきや炭、あるいは材木として利用したりしてきました。人の手がずいぶん入っているのです。しかし、そこにはたくさんの種類の生き物が数多く暮らしています。それは生き物にとっても、やさしい自然の使い方だったからです。たとえば、木を切るのも、一度に全部を切ってしまうわけではありません。少しずつ、場所を変えて使っていくのです。そうすると、生き物にとって住みやすい場所がずっと残されていくのです。

田や畑、小川やため池、草はら、雑木林や鎮守の森、お屋敷の森などが、モザイクのようにつくる「里やま」は、古くから人の利用と自然の豊かさが調和し保たれてきた、日本を代表する自然のひとつなのです。農村地帯だけでなく、大きな都市のまわりにも残っています。

あなたのまわりにそんな場所がないか探してみませんか。

「里山」と漢字で書く場合は、雑木林のような林だけをいう場合が多いようです。ここでは、林だけでなく田畑や川、神社なども含めて、農村的な風景全体を「里やま」としました。



観察のマナー

里やまはほとんどの場合、個人の持ち物です。できれば、前もってその土地を持っている人にあいさつしておきましょう。ただし、どこの人がどの土地を持っているかを知ることはなかなかむずかしいことがあります。少なくともこの「自然しらべ」をやっている最中に会った土地の人には、こちらからあいさつをしましょう。

なお、人里の自然にも、スズメバチやマムシなど、つきあい方を間違えると、人が大変な目にあう生き物がいることがあります。まず、そんな生き物がいたらむやみに近づかないことですが、どんな性質の生き物なのか、おそれたらどうすればいいのかを事前に知っておくことが大切です。「危険な生物」(平凡社)などを参考にしてください。

注意点

気をつけよう
危険な生き物
ハチ・マムシ・トゲのある植物など

気をつけよう
夜おそくの外出はやめよう!

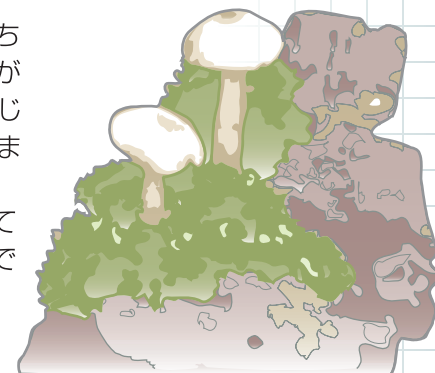
気をつけよう
くずれやすいガケや落石

●安全のためには、夏でも長そで、長ズボンという服装が良いでしょう。帽子も忘れずに。

観察のポイント

里やまは、人と自然が織りなす豊かな自然です。自然の豊かさを、生き物などの観察で、確かめ、実感することに加えて、是非昔から行われてきたその土地での人と自然のつきあい方といった知恵にも目をむけてください。家族のお年寄りに話を聞いたり、出かけていった里やまで会った人に話を聞いたりすると、昔のようすもわかったり、新たな発見があるはずですよ。

また、このような「里やま」では、昔から子供たちが草などをとって草花遊びをしてきた場所がたくさんあります。是非そのような遊びもつうじて、自然にふれあってください。ただし、里やまでも今や絶滅しそうな生き物がいます。採る量や生き物の種類、場所をわきまえ、そして生き物に対する感謝の気持ちを持って遊んでください。



みじかな一句

どる池に 今朝もまた おはよう

東京都 / 野々山陽子さん

みじかな一句

小 綏 鷄 の 鳴 く 公 園 や 朝 の 霧

神奈川県 / 井上実さん

行ってみよう	参考図書
1	しらべること
2	しらべること
3	しらべること
4	しらべること
5	しらべること
6	しらべること
まとめ	かた
記入シート	
1999年	まとめ